令　和　３　年　度

事　業　計　画　書

社　会　福　祉　法　人

神奈川県社会福祉事業団

目　　次

はじめに …… 1

1　経営統括管理室 …… 2

2　経営戦略室 …… 3

3　総合経営センター …… 4

4　横須賀老人ホーム …… 5

5　横須賀養護老人ホーム …… 6

6　箱根老人ホーム …… 7

7　湘南老人ホーム …… 8

8　あしがら広域福祉センターひかりの里…… 9

9　高齢者グループホーム「輪」…… 10

10　介護付有料老人ホーム「結」…… 11

　　高齢施設利用者目標数 …… 12

11　児童養護施設すまいる …… 13

12　あいせん保育園 …… 14

13　かんのん町保育園 …… 15

14　新川崎みらいのそら保育園…… 16

15　みなみかせ保育園…… 17

16　屏風ヶ浦保育園 …… 18

17　屏風ゆめの森保育園 …… 19

18　みなみひの保育園 …… 20

19　研修センター …… 21

20　収益事業センター …… 22

はじめに

新型コロナウイルスに罹患された方にお見舞い申し上げるとともに感染者の方への治療や感染予防に日々従事されているご家族・関係者の方々へ御礼を申し上げます。神奈川県社会福祉事業団は、今後も新型コロナウイルスに関する状況を注視しながら、政府や自治体などの方針に基づき感染拡大防止に必要な対応を適切に実施します。

また、社会福祉法の趣旨である「経営組織のガバナンス（内部統制）の強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組」をこれまで以上に図っていくとともに経営理念である「人にやさしい豊かな心」「地域社会への貢献」「活力ある経営」の三本の柱のもと、法人の羅針盤ともいうべき総合経営計画（第４次）〔平成３０年度～令和４年度〕を着実に推進します。

雇用責任と社会福祉法人としての社会貢献を果たすべく、合目的的な観点に立った事業経営を推し進めていきます。

○　重点事項

１　社会福祉法及び経営理念に基づく事業経営

２　総合経営計画（第４次）の着実な推進

３　新型コロナウイルス感染症防止に必要な対応の実施

1　経営統括管理室

経営統括管理室は、当法人における福祉サービス提供が、根拠関連法規に基づいた適切なものであるか、ご利用者の尊厳に配慮しているかなどを検証し、リスクマネジメントにおけるご利用者満足度向上の土台を構築し、ご利用者の安全・安心を守る適切なサービス提供を図ります。

当法人の各種会議・委員会等でコンプライアンス体制の啓発を行うとともに、安全・安心会議を主催し、東北地方太平洋沖地震の余震が続くなか近年の大規模災害の防災対策の周知や虐待防止への取り組みを強化するなど、ご利用者の人権を尊重し、業務上の事故防止に重点を置いた意識、知識、理解等を深めることに重点を置き、適切な施設経営が図れるよう積極的に取り組みます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮など、ガバナンス機能を含めた組織体制、透明性の確保等体制整備を強化します。

○　重点事項

1　法人経営のコンプライアンス体制の啓発

2　安全・安心なご利用者本位の施設経営（防災安全対策・事故防止）

3　内部通報・苦情案件に対しての迅速な対応

２　経営戦略室

福祉サービスの提供と地域社会への貢献は社会福祉法人に求められる社会的役割であります。同時に雇用の確保と事業の継続は全ての法人経営に求められる役割です。

経営戦略室では、新型コロナウイルス感染症の状況の中でも、高齢事業、保育・児童事業が継続してサービス提供ができるように経営管理をしていきます。

遅れている給与改定の立案を行います。１０年に１度の重要課題と認識しています。

令和２年度末から始まった横須賀老人ホーム外壁工事は、令和６年度までの長期工事になります。安全管理とともに資金管理を行い無事に完工できるように尽力します。

保育事業では、令和２年５月に厚生労働省から公表された新型コロナウイルス感染拡大を予防するための「新しい生活様式」に配慮しながら、今年度も子ども達にどのような保育が提供できるのかを工夫し、収束そして普通の日々が戻ってくることを願いながら今を生きる子ども達の健やかな成長を支えていきます。また、昨年度の経験を生かして安定した施設運営を行っていきます。

○　重点事項

１　経営戦略室職員の兼務化

２　人材確保の好機を逃さない採用活動

３　高齢事業所のサービス継続を前提にした事業再編

３　総合経営センター

総合経営センターは、当法人の評議員、役員等の法人業務、理事会、評議員会の運営、職員給与、経営管理での決算経理統括、企画・調整機能としての統括的事務を担っています。

各施設経営及び事業の実施にあたり、各施設等との総合調整を図り、特に依然として予断を許さない状況が続いている新型コロナウイルス感染症については、引き続き感染防止及び感染拡大リスク低減の対応を進めて参ります。

また、社会福祉事業・公益事業・収益事業を展開する総合福祉サービス事業体として、多面的視野を持ちながら社会福祉制度の変革に柔軟に対応し、更なる法人の事業発展のために、総合経営計画（第４次）の着実な推進を図ります。

なお、課題である人材確保については、横浜市及び川崎市の支援事業による保育園の借上げ宿舎制度の継続活用と幅広い層への職員確保に積極的に努めていきます。

さらに、理事会・評議員会の運営、会計監査人による監査、財務運営の適正確保、経営の透明性向上の推進を図り、各種事案の対応・解決や情報発信に努め、自主・自立した社会福祉法人として収支均衡のとれた経営を目指します。

○　重点事項

１　経営に関する意識を向上させ、一層の安定した経営管理

２　総合経営計画（第４次）の着実な推進と本経営計画の進捗管理

３　会計監査人による監査への適切な対応、財務運営の適正確保

４　横須賀老人ホーム

長期入所の年間利用率９６％、延べ利用者数は７１，８３２人を目標とします（以下１１ページまで断りのない限り長期入所／年間／延数を指す）。

当ホームは建替から２２年経過し、建物等に大規模な修繕・更新が必要な状況にあります。ご利用者の安全な生活環境づくりのためにも、併設養護老人ホームとの一体経営を推進し、毎年１億円の収支差額を実現できる経営システムを構築します。

収入においては令和３年度介護報酬改定（以下１１ページまで報酬改定と略す）を踏まえ、積極的な加算取得を目指し、サービスの質向上と収入増を目指していきます。支出においては適正な職員配置と計画的な予算執行を徹底していきます。

サービスの質に関しては「ご利用者中心のケアの実現」を目標に各種委員会やケアプランの充実を図っていきます。人材確保・育成・定着のために、「リバイバルアクションプラン２０１９」を確実に検討・実行していきます。

当ホームは今年５０周年を迎えます。「かなえる介護を横老で！」を合言葉に、５年後も１０年後も選ばれる施設を目指していきます。

○　重点事項

１　経営改革・業務の標準化を実行し、職員定数の見直し
第一ホームＡＢ統合、業務の標準化、利用者確保のサイクル構築

２　ご利用者中心のケアの実現と職員の働きがいのある職場作りの推進
各種委員会やケアプランの充実とリバイバルアクションプランの実行

３　伝統ある高齢者福祉総合施設としての地域社会への貢献
地域ニーズにお応えする介護サービスと地域の方々との信頼関係強化

５　横須賀養護老人ホーム

措置施設である盲養護老人ホームの役割を内外に周知し、適切なベッドコントロールにより地域の対象者が必要な時に入所できる状態、かつ施設の社会的役割からもより大勢の利用者がベッドをシェアできることを事業目標として、利用率９７％、利用者数は１７，７０２人を目標とします。

サービス提供に関しては、外部サービス利用型特定施設の利点を活かし、介護が必要な状態に進んでも、住み慣れた施設で自立して生活継続できる環境づくりに努めるとともに、経営的視点からも訪問介護等への収益の内部循環を意識したサービス提供を行います。

また、併設特別養護老人ホーム（以下１１ページまで特養と略す）との連携により、本人・家族の同意のもと、ご利用者の介護ステージにあった最適なサービスが受けられるよう、スムーズなサービス移行に努め、特養との一体的な経営を推進します。

また、報酬改定を踏まえ、措置費収入とのバランスを意識した収益力の強化に努めるとともに、施設規模に見合った適切な職員定数を維持します。

○　重点事項

１　基準に則った施設規模に見合う職員定数の見直し、定期的な評価

２　盲養護老人ホームとしての専門性の追求、自立支援を基盤とした利用者個別の幸福感の追求

３　老人福祉法規定の措置施設としての地域貢献の具現化
必要な時に入所できる施設であるために、盲養護老人ホームの役割の内外への周知、行政措置担当課・利用者等が求める情報の提供・情報の更新

６　箱根老人ホーム

利用率９６％、利用者数は３０，１３４人を目標とします。

経営の継続的安定を図るため、適正な職員の定数の見直しを図ります。報酬改定による新規加算取得のため、改定のキー項目であるLIFE（科学的データベースの構築）を円滑に運用するため、各種職種の確実な役割分担と連携の強化を図ります。

ご利用者の尊厳を大切にした「言葉がけ」「周辺症状の背景にある原因を探るケア」を実践し、ご利用者が居心地良く生活できる人的環境を醸成します。

また、昨年度から継続強化する取り組みとして、EPA介護福祉士候補生向けに独自作成した『キャリアラダー（個別育成計画）』を本格的に稼働させます。これは、確保できた外国人人材を最大限ケアの力になるように考案したものです。これにより、育成する側の指導力の向上にもなると考えています。

地域で生活する高齢化した様々な障がいを有した方々の砦になる施設として障害者支援体制づくりを行い地域貢献と事業所経営の安定化につなげます。

○　重点事項

１　適正な職員定数の見直しと報酬改定による新規加算、障害者支援体制加算取得など事業所安定経営の取り組み

２　ご利用者一人一人の尊厳を大切にしたケアの提供

３　ＥＰＡ介護福祉士候補生の人材育成の強化

７　湘南老人ホーム

利用率９６％、利用者数は５３，６１１人を目標とします。

建物設備の老朽化による大規模修繕に備え、安定した収入を確保するため、人件費等支出の見直しを図るとともに、各事業の利用率の向上と安定に努めつつ、新たな加算の取得など、安定した経営を目指します。

また、感染症や災害等、不測の事態にもダメージを最小限に抑え、安定したサービスを継続して提供できるよう、組織全体として、必要な知識、技術のレベルアップと、具体的な計画作成を目指します。

さらに、ご利用者の尊厳が常に守られた生活を常に提供できるよう、対人援助専門職として、常に自身の倫理観を振り返り、チームとして成長していけるよう努力します。同時に、地域貢献や地域の他資源との連携を常に意識し、地域での福祉力向上にも努めます。

○　重点事項

１　職員定数の見直し

２　ご利用者、ご利用者家族とのさらなる信頼関係構築のため知識、技術とチームケア力の向上

３　身体拘束廃止推進モデル施設としての役割の強化と地域への貢献

８　あしがら広域福祉センターひかりの里

利用率９７％、利用者数は１７，７０２人を目標とします。

サービスの実施に当たり、報酬改定の内容を踏まえ、ご利用者の生活の継続性を意識し科学的根拠に基づいた「個別ケア」を実施できるＰＤＣＡサイクルの創設及び、職員の知識・技術等のスキルアップとチームづくりを行います。

また、水害を始め実際の災害時を想定した「避難計画の作成」と「地元自治会・大井町との協力体制づくり」に取り組みます。

そして、それぞれのサービスの地域ニーズを踏まえ、新規ご利用者の獲得と適正な職員配置の見直しを行い、収支改善を目指します。

当施設は築３４年目の施設です。計画的な施設のメンテナンスを行い、ご利用者・ご家族・地域の皆様、そして、職員にとって、安全・安心に過ごしていくことができる環境づくりをソフト・ハード両面から取り組んで行きます。

○　重点事項

１　各サービスの地域ニーズを踏まえ、新規ご利用者の獲得と適正な職員配置の見直し

２　「科学的根拠に基づいた個別ケア」を実施できるＰＤＣＡサイクルの創設と職員の知識・技術のスキルアップとチームづくり

３　実際の災害時を想定した避難計画の作成及び地元自治会・大井町との協力体制づくり

９　高齢者グループホーム「輪」

利用率９５％、利用者数は６，２４１人を目標とします。

法人の経営理念の下に、「心が通う、あるがままの暮らし」、「地域とともに歩む施設づくり」の実現を目指し、「暮らしの継続」を意識した支援を行います。ご利用者一人一人の個性に寄り添い、自信と意欲につながる主体的な暮らしをサポートしていきます。

報酬改定により申請のできる加算を検討し、地域の多種多様なニーズに対応できるよう、柔軟かつ効果的な事業運営の確立に努めます。

感染症予防や災害が発生した場合、対策と業務継続に向けた取り組みの強化をしていきます。

また、職員定着に向けた職場環境づくりを継続し、認知症の方への理解を深め、思いを汲めるよう研修に力を入れていきます。

さらに、隣接する介護付有料老人ホーム「結」、湘南老人ホームと連携し、ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように環境づくりを行います。

○　重点事項

１　ご利用者の確保によるサービスの拡充と啓発・広報活動の推進

２　感染症予防や災害が発生した場合、対策と業務継続に向けた取り組みの強化

３　今までの暮らしを尊重した一人一人の「自分らしい暮らし」の支援

１０　介護付有料老人ホーム「結」

利用率９６％、利用者数は１０，１６１人を目標とします。

介護付有料老人ホーム「結」は開設から５年が経過し、定期的な営業活動やウェブサービスの活用等で認知度を広め、利用率の向上と入居待機者の確保を実現しました。今年度も引き続きご利用者やご家族、地域住民、関係機関等から信頼され、サービスの価値を高めることで選ばれる施設を目指します。

また、新型コロナウイルスと共存する事業の継続・発展に向けて、ご利用者やご家族等が安全に安心して利用いただける感染防止対策の見える化に取組み、事業継続計画の策定や、新しいサービスのあり方を模索した活動を行います。

そして、地域貢献活動においても、これまでの地域や関係機関等とのつながりを継続しつつ、新しい形で顔の見える関係づくりを広げ、地域をともに創り、ともに支えあう共生社会に寄与していきます。

○　重点事項

１　営業活動やウェブサービスの活用による利用率の安定

２　ウイルスと共存する事業の継続と発展

３　地域や関係機関等との連携による地域貢献活動の推進

令和３年度　高齢施設利用者目標数

項　　目		単位	横須賀老人ホーム	横須賀養護老人ホーム	箱根老人ホーム	湘南老人ホーム
長期入所		人	71,832		30,134	53,611
	措置	月人		17,702		
短期入所		人	5,339		438	2,920
通所介護		人	5,236			
	総合事業	件	1,232			
訪問介護	身体介助	時間		1,260		
	生活介助	時間		600		
	身体＋生活	時間		140		
	総合事業Ⅰ	件		305		
	総合事業Ⅱ	件		77		
	総合事業Ⅲ	件		0		
居宅		件	1,440			768
	予防	件	84			0
包括	計画作成	件	2,242			1,560

項　　目		単位	湘南老人ホームぷらっと	高齢者グループホーム「輪」	介護付有料老人ホーム「結」	ひかりの里
長期入所		人		6,241	10,161	17,702
	措置	月人				
短期入所		人				2,750
通所介護		人	2,472	2,149		4,400
	総合事業	件	0	48		60
訪問介護	身体介助	時間				1,200
	生活介助	時間				400
	身体＋生活	時間				1,200
	総合事業Ⅰ	件				12
	総合事業Ⅱ	件				0
	総合事業Ⅲ	件				0
居宅		件				1,260
	予防	件				
包括	計画作成	件				

１１　児童養護施設すまいる

児童養護施設すまいるは、少人数制ユニットにより、要保護児童の自立に向けた支援を行い、全人的接触と交流を前提としています。

児童一人一人が施設での生活を地域社会の人々に見守られながら地域社会の一員として自己が成長していくことを通し、一般的な人間としての相互的な関係を基礎とした安全・安心な暮らしを営めるよう援助します。

昨年開設しました小規模児童養護施設ひまわりは、児童の安全安心を第一に、小規模施設ならではの生活が継続できるよう、地域や関係機関との連携を図りながら施設運営を行っていきます。

あいせん児童家庭支援センターにおいては、地域の児童・家庭の福祉の向上のため、相談者からのニーズを把握したうえで、援助計画の実践のために、本体機能を活かし、他機関との連携を図ります。

○　重点事項

１　児童の豊かな生活を確保するため計画的予算執行に努める

２　尊厳に基づく安全・安心な暮らしと人権擁護

３　地域ニーズにあわせた公益事業の計画と実践

１２　あいせん保育園

法人保育園の共通の「全体的な計画」を基盤とした安全・安心な保育運営が行えるようにしていきます。一人一人の子どもの発達を捉え心身ともに健康な育ちと自己肯定感が育まれるよう、子どもの気持ちに寄り添っていく事を大切にした保育をしていきます。

子育て支援においては園児の保護者には子どもの成長を共有し共に考え合える関係を築いていき、地域の保護者には多様なニーズに応えていけるよう模索し地域の資源として活用されるよう努力していきます。また、関連機関等と積極的に連携をとり必要な支援を行っていけるようにしていきます。

保育運営を進める上でそれぞれの専門性を発揮できるような環境と職員間のコミュニケーションを大切にした上で職員の資質の向上を図っていけるよう研修会に参加したり、人材育成を丁寧に行い安定した職員体制を確保できるようにしていきます。

○　重点事項

１　職員の豊かな心による子どもの主体性を高める保育の推進及び保護者との信頼関係の構築

２　地域ニーズに合った支援活動の実施と関係機関との連携の強化

３　チームワークによる楽しい保育展開と働きがいを感じられる保育運営を目指す

１３　かんのん町保育園

かんのん町保育園では、乳幼児期が生涯にわたる人格形成にとって極めて重要な時期であることを踏まえ、子どもの最善の利益を考え、心豊かに生きる力の基礎を育んでいけるように保育方針に基づき保育を実践していきます。その中で、子ども達一人一人の気持ちに寄り添い、丁寧に向き合う関わりを積み重ねていく中で、子どもの育ちを支えていきます。それに伴い、職員同士も尊重し合える関係性を築き、対話を重ねることで互いに高め合い、保育力向上を目指していきます。

また、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせた適切な園運営を行い、子ども、保護者、職員の健康を守ることの徹底を図ります。

そして、一人一人の保護者の状況を踏まえて就労と子育てを支え、保護者の気持ちに配慮した温かな支援を行います。さらに地域との結びつきも大切にし、開かれた園運営を行います。

○　重点事項

１　子どもの心を支え、意欲や主体性を育む保育の実践

２　保護者が信頼して預けられる園運営と子どもの成長を共に喜び合える関係性の構築

３　地域関係機関との連携の強化と魅力ある子育て支援の充実

１４　新川崎みらいのそら保育園

開園から５年目の節目の年を迎え、運営も安定してきました。昨年度より、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、安全・安心な保育運営を目指します。また、職員が「保育所保育指針」を基に法人作成の「全体的な計画」の理解を深め、豊かで適正な保育の実現を図ります。そして園児一人一人の主体性を育て、人との関わりを大切にしながら，豊かな心を育てる温もりのある保育を実践していきます。そして保育ドキュメンテーションを取り入れ、保育内容の可視化を図り、園と保護者を結ぶ有効な役割となるように努めます。

また、昨年度は、コロナウイルスの影響を受けて、実施出来なかった地域支援事業を地域の子育て支援の拠点として地域のニーズを模索し、実施していきます。そして一時保育事業のより一層の充実を図ります。

○　重点事項

１　新型コロナウイルス感染拡大防止の強化を図り、安全・安心のある保育運営

２　子ども達の主体性を育み、豊かな心を育てる保育の実践

３　子育て支援の拠点として、地域支援事業、一時保育事業の推進

１５　みなみかせ保育園

川崎市立保育園の民営化により、２年目を迎えました。今まで大切にしてきた保育を継承するとともに、人格を形成する乳幼児期の良好な環境を保障し、将来に渡って力強く生き抜くための基礎的な力を、実体験を通して積み重ねられる保育を実践します。また、新型コロナウイルス感染拡大を予防するために新しい生活様式に配慮した保育にも引き続き取り組みます。

保育における子ども同士の関わりや子どもと保育士との触れ合い等、そこを避けて「保育」を行うことの困難さと命に代えられるものはないという視点に立ち、職員で知恵を出し合いチームワークを高めて“今”を生きる子ども達の健やかな成長を支えていきます。

保育園経営を進める上で、より地域に根差した保育の充実と乳児の定員外保育、支援の必要な子どもへの積極的な受け入れを行います。

○　重点事項

１　保育の継承と安全、安心の基での保育の充実

２　職員間のチームワークづくり

３　活力ある経営への取り組み

１６　屏風ヶ浦保育園

子ども達が豊かな経験を重ねて、生き生きと意欲を持ち、自分らしくいられるよう、全職員で一人一人の子どもを理解し、あたたかく見守る保育を実践していきます。コロナ禍において、集合研修が難しい中でも書籍を読み、専門職としての知見を深めていくことを怠らず、資質の向上に努め、責任をもって子ども達を見ていきます。

職員が余裕を持ち働くことが、子ども達を丁寧に見ていくことにつながるという共通認識のもと、職員を大切にして働きやすい環境を保障していくことに努めます。

子育て支援に関して何が出来るかを模索しながら、子育てを応援し、子育てをしている保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるように関わっていきます。

○　重点事項

１　保育方針と保育目標に基づいた保育の理解と実践

２　職員が長く働き続けられる職場環境の整備

３　保育園を拠点とした子育て支援の推進

１７　屏風ゆめの森保育園

世界中を震撼させたコロナ禍は、未だ終わりが見えない状況にありますが、どんな状況下でも子ども達の笑顔と健やかな成長を保障するため、今年度も命を守るための感染予防対策を徹底しながらの園運営となります。

先ずは、安全・安心に加え「衛生的」な保育環境作りを心掛け、社会的な状況の変化に応じて最大限に保育の充実を図り、職員の共通目標として子ども達の『しなやかな心と体を育む保育』を実践していきます。

昨年度は、業務の省力化を行ったことで作業効率が上がり残業が減った等、一定の効果を実感することが出来たので、今年度もより一層働きやすい職場環境を整えると共に、互いに思いやりの気持ちを持ち職員間の連携を深めます。職員の心の安定が子ども・保護者への温かな関りとなり信頼関係に繋げます。

また、ＨＰや書面・掲示物等、様々なツールを活用し保育内容をより分かりやすく伝え、協力関係の強化に努めます。地域子育て支援や地域との交流についても、今まで築いてきた繋がりが途絶えないよう、できる範囲で実施して参ります。

○　重点事項

１　安全・安心・衛生的な保育環境づくり

２　業務の効率化と職員間の連携強化から子ども・保護者との信頼関係へ

３　保護者の保育参加（理解）に向けた保育の可視化、及び地域への情報発信

１８　みなみひの保育園

保育所保育指針及び事業団の保育方針に基づき、子どもの持つ力を信じ、生きる力を身に着ける保育を実践、未来を創る子ども達のために環境を整え安全で適切な援助をしていくことを基本とした保育を目指します。

そのために、現在のコロナ禍に対応した新しい生活様式を参考に、これまでの実践にとらわれない保育の取り組みを模索・実施します。

また、オンライン研修の積極的な導入を図り、キャリアアップ研修等の機会を充実させ保育士のスキルアップに取り組みます。さらに、役割分担の明確化をし、個々の責任感ややりがいの向上に繋げます。それにより保育士の人材確保・定着に向けた仕組み作りと環境整備に努めます。

地域社会への貢献では、待機児童対策の取り組みとして、乳児クラスの定員外枠の柔軟な対応。また、幼児クラスの潜在的なニーズの解消に向け、地域保護者・行政との連携を強化し、定員外保育の拡充を図ります。

○　重点事項

１　新型コロナウイルス感染症予防に努め、新しい保育の取り組みを模索する

２　オンライン研修受講の充実。園内業務の役割分担を明確にし、職員一人一人のスキルアップへ繋げる

３　待機児童対策の取り組みとして、行政との連携を強化し、定員外保育の拡充を図る

１９　研修センター

今年度は、法人内研修と神奈川県からの受託研修を実施します。

法人内研修は、人材育成として階層別研修と実践研究演習を実施し、法人職員としての知識・技術・意識啓発を促し、実践力の向上を目指します。新型コロナウイルス感染予防を考慮し、感染状況によっては、オンラインによる講義・演習を実施します。

神奈川県からの受託研修は、認知症介護に係る研修（基礎研修・実践者研修・実践リーダー研修）、及び、地域密着型サービス開設者・管理者・計画作成者研修を受託します。新型コロナウイルス感染予防対策を講じ研修を実施し、県内の認知症介護指導者との連携を図るとともに、介護を担う関係機関とのネットワークづくりに貢献します。

また、神奈川県からの受託研修については、法人研修と人員配置を鑑み、今後の受託について、神奈川県と検討・協議を行います。

○　重点事項

1　経営理念である「求められる人材像」形成と安全な研修方法による研修の質の担保

2　認知症介護実践者研修等、神奈川県からの受託研修を通じて、県内の福祉・介護人材の育成と認知症介護指導者との連携

3　神奈川県受託研修のあり方について、神奈川県と検討・協議

２０　収益事業センター

収益事業センターは、自主自立後の社会福祉事業への補完的（みなし寄付金等）事業として位置づけ、平成２４年度から事業所として設置しました。

社会福祉施設の経営が、公定価格である措置費や介護保険報酬の改定により時代ごとに 厳しさが増すばかりであることから、当法人はもとより他社会福祉法人等の経営を強化するため、物品の共同購入による日常消耗品等、変動経費の抑制による経費削減の支援を行って参りました。

インターネットを利用したウィズカウネットの法人向け物品販売事業（共同購入会「らく楽クラブ設置」）は、収益事業として北は北海道から南は鹿児島県まで、国内約２９０施設の顧客を有し、着実な実績を積んできました。

今年度については、総合経営計画（第４次）を基に顧客の購入利便性の向上のため、前年度末に作成した「衛生・介護用品専用カタログ」を活用し、感染症への感染リスクの軽減、対策のためのお手伝いも行っていきます。

○　重点事項

１　経営理念に基づく総合経営計画（第４次）の着実な履行

２　社会福祉法人及び医療法人等の新規顧客加入促進

３　物品の共同購入による日常消耗品等、変動経費の抑制による経費削減の支援